

深海から見える 沼津の未来

日本一深い湾 深海に秘められた沼津の宝

広報ぬまづでは、毎年、一年の始まりに沼津にゆかりの深い著名人や有識者と市長が語り合う市長新春対談をお届けしています。

今年の特対談では、戸田で長年にわたり深海魚の研究と普及活動が続けている、東京大学大気海洋研究所海洋生物資源部門資源生態グループ助教の猿渡敏郎さんをお迎えしました。

日本一深い駿河湾に面する沼津。その海には、まだ知られていない魅力が詰まった「深海」という自然の宝があります。近年、深海魚を切り口にした取組が注目され、沼津の新たな魅力として全国から関心が寄せられています。

深海という未知の世界を通して、沼津の海が秘める魅力と可能性を未来へどうつないでいくかについて語り合いました。

戸田から始まった研究と ぬまづの宝

【市長】 明けましておめでとうござい
ます。今回は深海魚の研究者である猿
渡先生に戸田にお越しいただき、沼津
市駿河湾深海生物館を訪れた後、重要
文化財松城家住宅にやって来ました。
この場所で深海魚を通して海の魅力に
ついてじっくりお話を聞かせていただ
きます。猿渡先生には深海生物館を平
成29年にリニューアルした際に監修を
していただきました。それ以前から、
戸田とは深いつながりがあると同って
います。

【猿渡】 はい。戸田は私の魚類学者と
しての出発点です。大学時代、沼津で
研究活動をしていて、戸田のトロール
船に乗せてもらい、研究に必要な魚を
提供していただきました。東京大学大
気海洋研究所の助手になってから、今
の研究の柱であるアオメエソの調査の
ため戸田に通うようになったんです。

【市長】 そうなんですね。アオメエソ
ってメヒカリのことですね。

【猿渡】 メヒカリは生態に謎が多いん
です。黒潮に乗って移動し、日本沿岸
の海底で育ち、産卵のため回遊するこ
ろまでは分かっていますが、成熟し
た親魚がどこで産卵しているかは未だ
に謎なんです。

【市長】 それは知りませんでした。深
海生物館には先生の研究の一端に触れ
られる標本の展示がありますよね。

【猿渡】 はい。展示品は単なる標本で
はなく学術資料ですから、番号札を付
けたまま展示しています。深海での姿
に近づけるため、メヒカリは海底で休
む姿、サギフエは斜め下を向いて泳ぐ
姿にしているんですよ。

【市長】 タカアシガニの展示も迫力が
あります。

【猿渡】 あの展示は試行錯誤しました。
海底にいるような姿を再現するため、
上から吊るしてあるんですよ。また、卵
から育てた成長段階の標本も展示して



いますが、非常に貴重な試料です。

【市長】 他にも注目してほしい展示は
ありますか？

【猿渡】 ミツクリエナガチヨウチンア
ンコウですね。オスがメスに寄生する
珍しい魚で、その状態の標本を展示し
ています。また、まるで海底を走る装
甲車のような形をしたキホウボウも見
てもらいたいです。

【市長】 観察すると面白い発見があり
ますね。

【猿渡】 希少な展示としては、ヨコツ
ナイワシの標本もあります。体長1メ
ートルを超えるヨコツナイワシは駿河
湾で採集された、世界で6個体目の極

めて貴重な標本です。深海魚の特徴か
ら駿河湾の奥深さや多様性を感じても
らいたいです。

【市長】 駿河湾が多様な生き物を育む
海だということが伝わってきますね。
沼津は海が市街地から近く、海岸線も
長い。毎年、環境省が行っている海水
浴場の水質調査では、沼津の海水浴場
が小笠原や沖縄と並び、高く評価され
ています。

【猿渡】 沖縄と並び評価とは驚きです。
沼津の海は本当に特別な海ですね。

【市長】 これほど美しく多様な海が身
近にあることは、沼津の大きな魅力で
あり、まさに宝です。